

# 市民福祉委員会会議録

開催年月日	平成29年 8月22日(火)	場 所	議会委員会室(小)
案 件	・事務調査第2号「国民健康保険について」		
出席委員	広瀬委員長、宇治副委員長、大栗委員、天日委員、佐藤委員、渋谷委員		
欠席委員	—	事 務 局	倉本
オブザーバー	—	傍 聴 者	—
説 明 員	—		
開 会 時 刻	10時00分	実会議時間	01時間26分
		休 憩 時 間	00時間08分
閉 会 時 刻	11時34分	延会議時間	01時間34分
次 回 日 程	9月 5日 本会議終了後		
要 点 記 録	<p>&lt;概 要&gt;</p> <p>○事務調査第2号「国民健康保険について」</p> <p>□ポピュレーションアプローチの取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富良野市は市民の健康を真剣に考えている等の単純明快なメッセージを発信する必要がある。</li> <li>・健診を受けていなくても自分なりに取り組んでいる人も網羅すべき。</li> <li>・健診を受けない、受けられないという状況を分析し、その原因を解決できればよい。できなければ、健康は自らという考えに限界がある。</li> <li>・最終的に受診率の向上は、保健師が直接出向くほかない。</li> <li>・健康マイレージ等のインセンティブもあるが、本当に受診してもらいたい方は参加しない。その方へのアプローチをどう図るか。</li> <li>・長野県のまちで取り組まれている健康支援員のような制度を、富良野市の実情あわせて健康寿命の延伸に寄与できないだろうか。</li> </ul> <p>□制度等をわかりやすく周知する方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報に記事が記載されたが、文章がかたく素通りされかねない。</li> <li>・通信機器を使って、個人への情報を直接届くような仕組みも必要。</li> <li>・健診を受けてよかった事例や病気の極端な事例などを国保の案内に同封できないだろうか。</li> </ul> <p>○都市事例調査について(10月中旬から下旬を予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩見沢市：健康経営都市宣言の考え方について</li> <li>・栗山町：スマートウェルネスシティの考え方について</li> <li>・士別市：保健事業(特定健診)の取り組みについて</li> <li>・増毛町：保健事業の取り組みについて</li> </ul>		

	<ul style="list-style-type: none"><li>・その他、学術拠点との連携している事例があれば検討。</li></ul> <p>○次回の委員会</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・健診を受けていない人の分析を担当に照会し、各委員に共有する。</li><li>・危機意識の共有についてよその事例を持ち寄る。</li><li>・行動変容につながる周知、啓発の方法について協議。</li><li>・都市事例調査の日程、視察先を決定させる。</li></ul>
--	---

以上、委員会会議録について富良野市議会委員会条例第 27 条の規定により、ここに署名する。

委員長 広瀬寛人